

パンタナル通信

南北米福地開発協会 会報 2006年3月1日発行 第30号



南北米福地開発協会開発地 レダの建設は天から祝福を受け、2006年出発しています。



南米パラグアイ国内のパンタナル地域に環境モデル地域を建設する為、南北米福地開発協会は日本からボランティアの活動家が行き、世界から多くの人が来て学べる環境農場の建設を成してまいりました。

一九九九年一〇月に始まった開発は直接、当協会の神山会長が行い、基礎を作り、その後、中田実氏がレダ開発の責任者として進めてまいりました。

上記の建物の写真はゲストハウスの一つで、地球の未来を憂える世界からの有識者、学者が来ても滞在できる環境が出来てあります。既に、アメリカをはじめ、日本、韓国からも訪れており、地球環境改善が差し迫った問題である事を深く理解し、特に美しい自然に触れ、それらの神様が創造された自然を保全し、そこに集う絶滅の危機にある動植物を保護する事の重要性を再認識して行く機会になります。現地で美しい自然に触れることにより、より一層、自然の大切さを感じるようになります。若い青年も日本、アメリカからレダを訪れ原初の自然に感動し、地球環境を守る為の活動を行なっています。

今回の通信ではレダで現地の労働者とともに、環境モデル地域建設の為に、献身的に奉仕する中田代表はじめボランティアの方の最近の活動を紹介します。





樹の上に巣を作る習性があるパンタナールを象徴する鳥 トユウのツガイ(レダ基地の中で)



レダにて通訳が主な仕事の三石氏、
時間があれば芝刈りで環境整備をする。



基地内は電気はジェネレーターで起こす自家製
電気関係の整備を担当する小田氏

二〇〇六年度 環境セミナー		
第一回	三月一六日	午前一〇時一午後五時まで
第二回	六月一八日	場所：南北米福地開発協会事務局
第三回	九月一七日	内容 地球温暖化と植樹の重要性、レダ開発について
第四回	一二月一七日	費用 三千円（昼食付き）
第一回から四回の詳細は後ほど連絡します。		

南北米福地開発協会 事務局
〒二二二三一〇〇〇一
神奈川県川崎市高津区溝口三一十一一十五
岩崎ビル四F

電話 〇四四一八二九一一八二二 Fax 八二九一一八二〇
会員納入口座郵便口座 一〇一八〇一七七六八〇四七一



1月末まで2ヶ月間、
農業奉仕に汗を流した大元氏



2005.11.17

2005.11.20